



僕達と逃げる準備、していますか？



ペットの防災対策

防災対策が必要なのは、ペットも一緒です。災害時に大切な家族の一員であるペットも守れるように、日頃から備えましょう。詳しくは、[千葉市 ペット 防災](#)

日頃から備えよう！

- 誰がペットを避難させるか、または緊急時のペットの預け先を決めておく
- 基本的なしつけを行う（待て・座れなどの号令に従う、無駄吠えしない、ケージを嫌がらない、決められた場所での排泄など）
- ワクチンの接種やノミ・ダニの駆除、避妊・去勢手術
- 迷子札やマイクロチップ（犬の場合は鑑札・予防注射済票を首輪などに装着）など身元がわかるものをつける
- ペットと一緒に避難所へ避難（同行避難）するための防災グッズの用意

ペットのための防災グッズ

- トイレ用具（ペットシート、処理用具、トイレ砂など）
- 予備の首輪やハーネス、リード（伸びないもの）
- 療法食や薬（治療中のペット）
- キャリーバッグやケージ
- 飼い主の連絡先、ペットの写真
- エサと水（最低5日以上）
- ワクチン接種状況などの情報
- 食器



同行避難って？

避難所などへペットと一緒に避難することを同行避難といいますが、ペットと人が同じスペースで生活することを意味するものではありません。避難所ではルールに従い、周囲の人に配慮した管理を行う必要があります。

☎生活衛生課 ☎245-5215 FAX245-5556

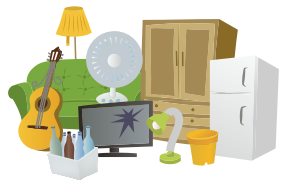
日頃の意識でできること 災害ごみを減らそう

災害時には、通常よりも多くのごみが発生します。日頃から不要なものを処分するなど、ごみを減らしましょう。

詳しくは、[千葉市 災害ごみを減らすために](#)

日常でできること

使わなくなった家電製品や家具など、いらないものは、リユースやリサイクルを意識して、処分しておきましょう。



また、家具をしっかり固定することで、身の安全や家具を守るだけでなく、災害ごみを減らすことができます。

災害時こそ、しっかり分別を！

災害時には、通常の生活ごみだけでなく、大量の災害ごみが発生します。また、ごみの収集や処分を行う事業者やごみ処理施設が被害に遭い、ごみの排出ルールが大きく変わることがあります。

大量に発生するごみを迅速に処分するため、災害時もしっかりごみの分別をしましょう。

☎廃棄物対策課 ☎245-5236 FAX245-5624

災害時に慌てないために



大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、自宅へ帰ることが困難になったり、家族などと連絡がつきにくくなります。日頃から次のことを意識して、冷静に行動できるようにしましょう。



災害時はむやみに移動を開始しない！

- 安全な場所にいる場合は、避難所へ移動しない
- 安全な親戚・知人宅への避難を検討
- 災害伝言サービスやSNSで、家族の安否などを確認
- 交通機関の情報や道路の被害情報などを入手

家族などと安否確認の方法を複数確認しておこう！

- 安否確認の方法は、日頃から家族などで話し合い決めておく
 - 災害用伝言サービスの利用方法を確認し、体験しておく
- 詳しくは、[千葉市 安否確認](#)

☎防災対策課 ☎245-5113 FAX245-5552

安全な徒歩帰宅のために、普段から心掛けを！

- 携帯ラジオや地図、携帯電話を充電するバッテリーを持ち歩く
- 徒歩やバスでの帰宅経路と災害時帰宅支援ステーションの場所を確認
- 職場などに、歩きやすいスニーカー、懐中電灯、手袋、飲料水、食料などを用意

災害時帰宅支援ステーション

災害時に徒歩で帰宅する方に、協定を締結したコンビニエンスストアや飲食店などが、水道水、トイレ、交通情報などを提供することになっています。



このステッカーが目印